

読書

読書は語彙・言語能力の発達、論理的思考力が身につく、想像力・感受性が豊かになるなど、良いことがいっぱい。学力の素地は読書から！！

1 学校で読書活動の充実を図る

① 朝読書の充実を図る

- みんなで読む。
- 毎日読む。
- 好きな本を読む。
- 静かに落ち着いた時間を作る。
- 担任も一緒に読書を行う。



読書の
環境
づくり

② 学校において読書に向けた取組を行う

- 絵本のよみきかせの時間の設定。(小学校)
- 読んだ本のポップ制作や読書新聞の作成。(他者へ紹介活動)
- 学校図書館利用の充実を図る。(司書教諭補助員との連携を図る)
- 国語科で学習した題材の作者の本が読めるコーナーを設ける。
(並行読書、関連図書のおすすめ)
- 国語科等でビブリオバトルの実施。
- 新聞記事を利用した学習活動。(NIE)
- 秩父市立図書館との連携。

読書の
きっかけ
づくり

2 家庭における読書を推奨する

① 家庭との連携も大事

- 少し早く起きて、家族で読書。
- 親が本を読んでいる姿を見せる。
- 家の本棚に親が読んだ本を置く。

子どもたちや、保護者に読書することの良さや効果を知ってもらうことが大事。

② ゲームより読書！スマホより読書！

- 毎日決まった時間に読書を行う。
- 1日に10分でもいいから毎日読む。
- どこでも読めるように本を持ち歩く。

家庭での読書を勧める。
保護者の意識を変える。